

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	長野平青学園
設置者名	学校法人 平青学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ICTシステム・デザイン科 モバイルアプリコース	夜・通信	48単位	6単位	
	ICTシステム・デザイン科 グラフィックデザインコース	夜・通信	49単位	6単位	
商業実務専門課程	医薬サポート科 メディカルサポートコース	夜・通信	52単位	6単位	
	医薬サポート科 健康アドバイザーコース	夜・通信	42単位	6単位	
医療専門課程	歯科衛生士科	夜・通信	122単位	9単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当学園ホームページにて公表。 <a href="https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure.php">https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure.php</a>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長野平青学園
設置者名	学校法人 平青学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

当学園ホームページにて公表。 <a href="https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/riji.pdf">https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/riji.pdf</a>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	同じ企業団地に所在する企業としての意見・要望
非常勤	株式会社役員	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	就職先となるビジネス界から学校評価および意見・要望
非常勤	株式会社役員	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	就職先となるビジネス界から学校評価および意見・要望
非常勤	団体役員	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	就職先となるビジネス界から学校評価および意見・要望
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野平青学園
設置者名	学校法人 平青学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期(前期・後期)の授業開始前に科目の担当者(講師)によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点で担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。また、これらの授業計画書は、3月に作成する。その上で、それぞれ前期は3月下旬、後期は8月下旬までに当学園ホームページにて公開、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>当学園ホームページにて公表。</p> <p><a href="https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure.php">https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure.php</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>評価については、学則、「第21条 成績評価」、及び、学生の手引き、「4 成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p> <p>評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したループリック評価とし、評価の納得性を高めている。</p> <p>各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90点以上にA評価、70点以上90点未満をB評価、60点以上70点未満をC評価、60点未満をD評価とする。D評価の場合は不認定とする。</p> <p>評価試験を受験するためには出席率80%以上(歯科衛生士科については90%以上)を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPA制度を導入し、毎期末時の成績評価の際に、全ての学生の評価を集約し、GPAによる客観的な成績分布状況の把握を行っている。あらかじめ設定した算出方法により、GPA等の数値を算出している。

GPAによる成績評価については学生の手引き内に記載をし、学生に周知するとともに、「学生の手引き」はホームページ上に公表する。

GPA (Grade Point Average) は、下記のように計算をされ、一人ひとりの総合的な評価としてクラス内における成績順位を決定する。

評価	合格			不合格
	A	B	C	D
点数	90点以上	70点以上 90点未満	60点以上 70点未満	60点未満
GP	3	2	1	0

$$\text{GPA} = \frac{\text{〔履修登録科目の GP} \times \text{その科目の単位数〕 の総和}}{\text{履修登録した全科目の総単位}}$$

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

当学園ホームページにて公表。  
<https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/tebiki.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を下記のように定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。

長野平青学園の理念と教育目標に基づき、各学科コースにおいて、次の方針により卒業を認定します。

1. 各学科、コースの基準となる単位を修得し、かつ、定める審査基準に達していること。
2. 次に掲げる各項目の能力、姿勢などを有している。
  - ① 目指す職業についての理解と、各学科が目標とした専門技術者としての能力
  - ② 課題への取り組みにおいて、主体的かつ協働的に解決を図る能力
  - ③ 自分の意見と状況を他者に対し分かりやすく表現できるプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力
  - ④ 修得した知識と技術、資格を体系立てて活用し、職業をとおして社会に貢献する姿勢
  - ⑤ 職業人としての倫理観・社会観

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

当学園ホームページにて公表。  
<https://www.heisei.ac.jp/outline/disclosure.php>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	長野平青学園
設置者名	学校法人 平青学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	当学園ホームページにて公表。 <a href="https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/taisyaku.pdf">https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/taisyaku.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	当学園ホームページにて公表。 <a href="https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/syuushi.pdf">https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/syuushi.pdf</a>
財産目録	当学園ホームページにて公表。 <a href="https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/koteishisan.pdf">https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/koteishisan.pdf</a>
事業報告書	当学園ホームページにて公表。 <a href="https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/jigyohoukoku.pdf">https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/jigyohoukoku.pdf</a>
監事による監査報告（書）	当学園ホームページにて公表。 <a href="https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/kansahoukoku.pdf">https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/kansahoukoku.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	ICT システム・デザイン科 モバイルアプリコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	65 単位時間/単位	36.6 単位時間 /単位	23.2 単位時間 /単位	7.2 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教 員数	総教員数	
50人		32人	1人	1人	7人	8人	

※生徒定員は、コースごとに設定していないため、学科総定員を記載した。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期（前期・後期）の授業開始前に科目の担当者（講師）によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は3月下旬、後期は8月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点に担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>評価については、学則、「第 21 条 成績評価」、及び、学生の手引き、「4 成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p> <p>評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。</p> <p>各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90 点以上に A 評価、70 点以上 90 点未満を B 評価、60 点以上 70 点未満を C 評価、60 点未満を D 評価とする。D 評価の場合は不認定とする。</p> <p>試験を受験するためには出席率 80%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。</p> <p>当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記の様に定めている。</p> <p>①各科目とも出席率は 80%以上である事          ②65 単位以上を習得する事          ③必履修科目は必ず取得する事          ④成績評価は A・B・C を単位認定とし、D は不認定とする          ⑤当該年度の授業料等に未納がない事</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め、必要な補習、課題等の提出を求めている。</p>

<p>卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
<p>卒業者数</p>	<p>進学者数</p>	<p>就職者数 (自営業を含む。)</p>	<p>その他</p>
<p>13 人 (100%)</p>	<p>0 人 ( 0%)</p>	<p>10 人 ( 76.9%)</p>	<p>3 人 ( 23.1%)</p>
<p>(主な就職、業界等) I T 業界、製造業界</p>			
<p>(就職指導内容) 1 年次より「就職支援授業」を実施し、キャリア教育を図っている。また、面接指導、電話かけ指導など、就職活動に必要なスキルアップのためのトレーニングも随時行っている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが 2 名常駐し対応している。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）) I T 系の資格のほかビジネスマナー等の社会人として必要とされるスキルを習得する資格を取得させている。</p>			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	2人	6.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な2者面談・3者面談の実施、中退者に対しての進路指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	ICTシステム・デザイン科 メディアデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	65 単位時間/単位	33.6 単位時間 /単位	22.4 単位時間 /単位	8 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教 員数	総教員数	
50人		13人	2人	1人	5人	6人	

※生徒定員は、コースごとに設定していないため、学科総定員を記載した。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画書 (シラバス) については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期 (前期・後期) の授業開始前に科目の担当者 (講師) によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は3月下旬、後期は8月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点で担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。
成績評価の基準・方法
(概要) 評価については、学則、「第21条 成績評価」、及び、学生の手引き、「4 成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。 評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。

<p>各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90 点以上に A 評価、70 点以上 90 点未満を B 評価、60 点以上 70 点未満を C 評価、60 点未満を D 評価とする。D 評価の場合は不認定とする。</p> <p>試験を受験するためには出席率 80%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。</p> <p>当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記の様に定めている。</p> <p>①各科目とも出席率は 80%以上である事          ②65 単位以上を習得する事          ③必履修科目は必ず取得する事          ④成績評価は A・B・C を単位認定とし、D は不認定とする          ⑤当該年度の授業料等に未納がない事</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め、必要な補習、課題等の提出を求めている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100%)	0 人 ( 0%)	2 人 ( 100%)	0 人 ( 0%)
(主な就職、業界等) 広告・印刷・デザイン・クリエイティブ業界			
(就職指導内容) 1 年次より「就職支援授業」を実施し、キャリア教育を図っている。また、面接指導、電話かけ指導など、就職活動に必要なスキルアップのためのトレーニングも随時行っている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが 2 名常駐し対応している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) グラフィック系の資格のほかビジネスマナー等の社会人として必要とされるスキルを習得する資格を取得させている。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	1 人	11.1%

(中途退学の主な理由) 進路変更など
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な2者面談・3者面談の実施、中退者に対しての進路指導

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		商業実務専門課程	医薬サポート科 メディカルサポートコース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	65 単位時間/単位	41 単位時間/ 単位	22.3 単位時間/ 単位	8.9 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		13人	0人	1人	8人	9人	

※生徒定員は、コースごとに設定していないため、学科総定員を記載した。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画書(シラバス)については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期(前期・後期)の授業開始前に科目の担当者(講師)によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は3月下旬、後期は8月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点で担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。
成績評価の基準・方法
(概要) 評価については、学則、「第21条 成績評価」、及び、学生の手引き、「4 成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。 評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。 各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90点以上にA評価、70点以上90点未満をB評価、60点以上70点未満をC評価、60点未満をD評価とする。D評価の場合は不認定とする。 試験を受験するためには出席率80%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。 当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記のように定めている。 ①各科目とも出席率は80%以上である事 ②65単位以上を習得する事 ③必履修科目は必ず取得する事 ④成績評価はA・B・Cを単位認定とし、Dは不認定とする ⑤当該年度の授業料等に未納がない事
学修支援等
(概要) 授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め、必要な補習、課題等の提出を求めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、医院、歯科医院、調剤薬局、ドラッグストア			
(就職指導内容) 1年次より「就職支援授業」を実施し、キャリア教育を図っている。また、面接指導、電話かけ指導など、就職活動に必要なスキルアップのためのトレーニングも随時行っている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが2名常駐し対応している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 登録販売者、販売士の資格のほかビジネスマナー等の社会人として必要とされるスキルを習得する資格を取得させている。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な2者面談・3者面談の実施、中退者に対しての進路指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		商業実務専門課程	医薬サポート科 健康アドバイザーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	65 単位時間/単位	35.8 単位時間/ 単位	17.3 単位時間/ 単位	14.9 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位	0 単位時間/ 単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		15人	0人	1人	10人	11人	

※生徒定員は、コースごとに設定していないため、学科総定員を記載した。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画書 (シラバス) については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期 (前期・後期) の授業開始前に科目の担当者 (講師) によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は3月下旬、後期は8月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点で担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。
成績評価の基準・方法
(概要) 評価については、学則、「第21条 成績評価」、及び、学生の手引き、「4 成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。 評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。 各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90点以上にA評価、70点以上90点未満をB評価、60点以上70点未満をC評価、60点未満をD評価とする。D評価の場合は不認定とする。 試験を受験するためには出席率80%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー) を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。 当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記の様に定めている。

①各科目とも出席率は80%以上である事 ②65単位以上を習得する事 ③必履修科目は必ず取得する事 ④成績評価はA・B・Cを単位認定とし、Dは不認定とする ⑤当該年度の授業料等に未納がない事
学修支援等
(概要) 授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め、必要な補習、課題等の提出を求めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	1人 (12.5%)	7人 (87.5%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 調剤薬局、ドラッグストア			
(就職指導内容) 1年次より「就職支援授業」を実施し、キャリア教育を図っている。また、面接指導、電話かけ指導など、就職活動に必要なスキルアップのためのトレーニングも随時行っている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが2名常駐し対応している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 登録販売者、販売士の資格のほかビジネスマナー等の社会人として必要とされるスキルを習得する資格を取得させている。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な2者面談・3者面談の実施、中退者に対しての進路指導		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療分野	医療専門課程	歯科衛生士科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習

3年	昼	126 単位時間/単位	79.3	10.9	35.8	0	0
			単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		63人	0人	5人	35人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画書（シラバス）については全てのカリキュラムの授業運営の指標となるものと位置づけ、各年度、各期（前期・後期）の授業開始前に科目の担当者（講師）によって作成され、各科主任、教務部長の点検を経て、前期は3月下旬、後期は8月下旬に、学年・学科毎にまとめ全ての学生に配布される。授業計画書の内容としては、講義名、担当講師、使用教室、授業日・時間、単位数等の基本データに加え、その授業の目標、受講にあたっての留意点、受験すべき検定の概要、評価方法、授業スケジュールなどを明記し、初回授業の開始時点で担当講師より詳細を説明し、受講上必要な理解を得る。</p> <p>また、これらの授業計画書は当学園ホームページにて公開し、本学園への志望者、本学園への求人を希望する企業等に情報提供をするものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>評価については、学則「第21条 成績評価」、及び、学生の手引き「4. 成績評価について」で規定、公表されている。また、各学年の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p> <p>評価は、公正かつ納得性を重視し、態度評価等の評価者の主観が入りやすい評価については、事前に評価基準を学生に明示したルーブリック評価とし、評価の納得性を高めている。</p> <p>各期末及び授業期間の終了時に試験あるいはレポートの提出を課し、その評価に授業態度や期間中の小テスト、提出物などの評価を加味し、90点以上にA評価、70点以上90点未満をB評価、60点以上70点未満をC評価、60点未満をD評価とする。D評価の場合は不認定とする。</p> <p>試験を受験するためには出席率90%以上を要し、規定の出席率に達していない場合は受験前までに補講または課題の提出を課す。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。さらに、卒業認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。</p> <p>当学園における単位修得は全ての履修科目においてその科目の目標とする習得知識及び技術を概ね習得していることを旨とし、卒業の認定については下記のように定めている。</p> <p>①各科目とも出席率は90%以上である事  ②全科目C以上で取得する事  ③当該年度の授業料等に未納がない事</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>授業内における個々の学生の習得到達度を担当講師は常に把握することに務め、必要な補習、課題等の提出を求めている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 ( 0%)	16人 ( 100.0%)	0人 ( 0%)
（主な就職、業界等） 歯科医院			
（就職指導内容） 3年次の卒業研究終了時より、学校への求人をお願いした歯科医院への見学を始め、面接、内定をさせている。また、就職における悩み・迷いを解消させるため、キャリアカウンセラーが2名常駐し対応している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家資格 歯科衛生士資格の取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	1人	1.8%
（中途退学の主な理由） 進路の変更など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な2者面談・3者面談の実施、中退者に対しての進路指導		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ICT システム・デザイン科	160,000 円	640,000 円	150,000 円	施設設備維持費
医薬サポート科	160,000 円	610,000 円	120,000 円	施設設備維持費
歯科衛生士科	160,000 円	640,000 円	150,000 円	施設設備維持費
国際ビジネス科	160,000 円	610,000 円	120,000 円	
日本語科 2年コース	50,000 円	552,000 円		(授業料は施設設備・維持費含)
日本語科 1.5年コース	50,000 円	276,000 円		(授業料は施設設備・維持費含)
修学支援 (任意記載事項)				
<p>・特待生制度 専願、評定平均値 3.8 以上、高等学校長の推薦 入学試験 (筆記試験、面接試験) の結果を基に下記ランクを適用 A ランク 授業料 70 万円の減免 B ランク 授業料 40 万円の減免 C ランク 授業料 20 万円の減免 D ランク 授業料 10 万円の減免</p> <p>・家族制度 父・母・姉・兄・弟・妹が当学園の卒業生または在校生である場合 入学金 10 万円の減免</p> <p>・遠隔地制度 通学において自宅から学園まで 2 時間以上を要する場合または 50km 以上の新幹線通学をする場合 入学金 10 万円の減免</p>				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当学園ホームページにて公表。 <a href="https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/hyouka.pdf">https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/hyouka.pdf</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
学校関係者評価委員会を年に 2 回開催し、事前に配布した自己評価表を元に、委員より学校の状況、自己評価に対して意見、要望を加えていただいている。いただいた意見をもとにした以降の対策・実効策については評価表とともにまとめ委員へ郵送すると同時にホームページに公表している。
【評価項目】
(1) 教育理念・教育目標・人材育成像
(2) 学校運営
(3) 教育活動
(4) 学修成果と教育効果
(5) 学生支援
(6) 教育環境
(7) 学生の募集と受け入れ
(8) 財務
(9) 関係法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献

<b>【学校関係者評価委員の構成】</b> 学外委員 8名 卒業生 6名		
<b>【活用方法】</b> 教務会・カリキュラム編成委員会等で、評価結果から得られた課題等を情報共有すると同時に、次年度以降の学校運営等の施策・カリキュラムを検討する際のポイントとして提示している。		
<b>学校関係者評価の委員</b>		
所属	任期	種別
株式会社 夏目	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	学外・業界関係者
株式会社 竹村製作所	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	学外・業界関係者
協同組合長野アークス	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	学外・業界関係者
富士印刷株式会社	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	学外・業界関係者
長野市薬剤師会	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	学外・業界関係者
株式会社藤屋	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	学外・業界関係者
さわぐち歯科医院	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	学外・業界関係者
	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	学外・業界関係者
炭平コーポレーション株式会社	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
株式会社夏目	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
タイガー情報機器株式会社	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
長野アークス	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
<b>学校関係者評価結果の公表方法</b> (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当学園ホームページにて公表。 <a href="https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/hyouka.pdf">https://www.heisei.ac.jp/outline/pdf/hyouka.pdf</a>		
<b>第三者による学校評価 (任意記載事項)</b>		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)  
 当学園ホームページにて公表。  
<https://www.heisei.ac.jp/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	長野平青学園
設置者名	学校法人 平青学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		13人	11人	13人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				13人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及び専 門学校（修業年限が2年以下のもの に限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人

年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの 限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。